

令和7年度 第4回 南箕輪村地域公共交通会議
議 事 録

日 時：令和8年1月14日(水) 10:00~11:00

会 場：南箕輪村役場 2階 講堂

議 題：

1. 開会

- ・事務局より開会の辞

2. あいさつ

- ・村長よりあいさつ

●藤城会長
(南箕輪村長)

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。通学通院支援バスのルート変更を決定するという事で、今年度4回目となります。何度も足をお運びいただき、ありがとうございます。今回の会議で4月から始まる通学通院支援バスの議論は終了となります。最後まで協力をお願いします。

3. 協議事項

(1) 通学通院支援バス運賃設定について

- ・配布資料に基づき、事務局より説明

●藤城会長
(南箕輪村長)

運賃設定についてはこの会議に先だて、運賃協議会で承認を得たところである。この内容について意見・質問などあるかとくにないようなので、この通りで進めることとする。

(2) 南箕輪村地域公共交通計画令和7年度事業の進捗状況について

- ・配布資料に基づき、受託事業者より説明

●山崎委員
(村福祉課長)

免許返納者へのタクシー助成券進呈とあって実施内容としてはよいのだが、免許を返納すると「自動的にプレゼントされる」というようなニュアンスを受けてしまう。返納者についても、他の方と一緒に申請手続きをしてもらって交付する方式なので、そうと分かる書き方がよい。

●受託事業者
(SCOP 富樫)

計画策定段階では、具体的な施策の運用が決まっておらず、新しい仕組みができて自動的にプレゼントされるようなものをイメージした。しかし実際には、現行制度の拡張というかたちに落ち着いたので、次回の評価のなかでは書きぶりを変えたい。

●藤城会長

担い手の部分について、事業者さんからご意見をいただきたい。

(南箕輪村長)

- 福澤委員
(伊那バス)

採用活動は常時やっているが、なかなか厳しい状況が続いている。そのようななかでも、今年度は初めて駒ヶ根自動車学校に協力もらい運転体験会というものを2回開催し、当初予定の倍以上の方に参加してもらった。これをきっかけに採用につながればというところだが、応募はきているものの人員増にはつながらず、現状維持が精一杯というところである。地域の皆さんにはご要望に添えない部分もあるが、乗車していただいて、地域公共交通を維持できるように努めていきたい。

- 田畑委員
(JRバス関東)

当社は福島県から愛知県まで全国17支店で採用活動をしている。直近だと、1月から2名入っており、年間で4~5名が17支店に配属されている。長野県では伊那市、諏訪市、小諸市の3か所あるが、最近では22年の10月に新人が1人入った程度で25年は0人である。報道されているとおり、バスやタクシーのドライバーは年齢も高くなり、若い人が入ることはなかなかない。できれば伊那バスさんとも手を組んで、地域全体で人の集まるようなことができるとよいと考えている。できるだけ地域に密着し、力になれるよう努めたい。

- 白川委員
(白川タクシー)

一般的な求職活動として、スマホや広報を使い、行っている。大体年に1~2人入るという状況である。やはり年齢が高い人が多く、夜のドライバーの充足には至っていない。今まで夜やっていた人が昼に移り、昼間は充足しつつあるが、夜はまだまだ足りていない。公的支援制度として今年で3年目になるが、長野県主催の求職者セミナーというものがあり、採用担当が各地域で説明会を開催している。今年の上伊那地域では11月中旬に行ったが、まだ結果は出ていない。過去2回の開催では、上伊那地域では3名の採用があった。ただし、採用しても半年後に辞めた方もおり、難しい面もある。

(3) その他

- 事務局
(小澤主事)

運行日についてだが、今回の通学通院支援バスも現行のまっくんバスと同様に、平日のみ運行ということで予定している。

- 藤城会長
(南箕輪村長)

とくに異論なければ、そのように進めさせてもらう。

- 白川委員
(白川タクシー)

先日、長野県地域公共交通活性化協議会の上伊那地域の分科会があつて参加してきた。伊那本線が飯田線と重複して走っていることが問題だと指摘されていた。今回はまっくんバスがなくなる状況で、タクシー補助券でタクシー会社がフォローしなくてはならなくなっている。一方、伊那市でも市街地デジタルタクシーという制度があり、低料金でタクシー利用を促している。この仕組みの利用頻度が高く、タクシーの供給能力が厳しい状況になっている。

この会議の議題でないかもしれないが、考えてもらいたいのは、伊那本線のルート調整である。南箕輪役場から春日街道に上がり、堀田内科を通過して中央病院に行くルートを作ってもらえるように検討してほしい。伊那市のデジタルタクシーでも、中央病院やあじーなまで250円でいっ

て、そこから先は普通のタクシーに切り替えて、堀田内科まで行くというような動きがある。我々事業者としても煩雑なので、そういうやり方はやめたいと考えている。通学通院支援バスは朝晩のみなので、これによって南箕輪村からの通院の日中のルートにもなる。これは南箕輪の中で考えられる話かと思っている。一方、伊那市には伊那食品を回る路線などをお願いしているところである。タクシーに負荷が掛かりすぎている感もあるのでお願いしたい。

●藤城会長
(南箕輪村長)

確かにそういうこともあると思う。検討していきたいと思う。
その他あるか。

●事務局
(小澤主事)

前回会議で移設・新設のバス停について、あじーなの前のバス停は従来は1か所だけでバスが毎回入っていたが、春日街道沿いに出して運行をスムーズにすると案内したところである。しかし、議会のほうから指摘があり、歩道もなく、子どもがいて危ないので、あじーなの中の今あるところを使うことを考えている。

●藤城会長
(南箕輪村長)

他にあるか、なければこれで閉じたい。

4. 閉会

- ・事務局より閉会の辞